

【第1回開発協力プレスツアーの実施】



10月26日、ジンバブエ東部のマニカランド州ニャンガ郡ニャコンバ地区において、平成27年度無償資金協力「ニャコンバ灌漑事業のための灌漑開発計画」に係る起工式が、当国農業・機械化・灌漑開発省の主催により開催され、日本政府を代表して平石大使が出席し挨拶を行いました。日本大使館としては、この機会に我が国の国際貢献の取り組みを広く国民に周知するため、メディア向けの開発協力プレスツアーを企画したところ、3社から4名のジャーナリストが参加しました。

本件起工式には、当地JICA支所長、工事を請け負った鴻池組、コンサルタントのNTCIの他、多くの当国政府関係者や地域住民などを含めて約500名が参加し、日本国民に対して大きな感謝が示されました。

この計画は、小規模農家のための灌漑計画としては当国最大規模の施設であり、干ばつ被害の軽減や唐辛子などの換金性の高い作物生産による農家所得の向上を目的に、ニャコンバ地区における約600haの農地を灌漑するためのポンプ場や調整池、水路等の新設・リハビリを行うもので、約18億円の事業費をかけ、2019年の完成が予定されています。

この計画は、ジンバブエへの本格的な援助再開を象徴する15年ぶりの二国間無償資金協力であるとともに、去る3月のムガベ大統領訪日時に安倍総理からその推進が述べられるなど、今後の両国関係の強化にとっても重要なものであり、この事業の成功に大きな期待が寄せられています。